

「地域独自の予算」への対応状況などを調査 市議会総務委が地域協議会に出向く



市議会総務常任委員会は7月～8月、委員が分担していくつかの地域協議会を訪問しています。日頃の地域協議会の活動状況や市長が打ち出している「地域独自の予算」に向けた取組の進展具合などを知ることが目的です。26日、私は名立区地域協議会へ出かけました。

同地域協議会では森林組合や商工会など区内の団体と意見交換を重ね、課題をつかもうと努力されていることがよくわかりました。また、まちづくり協議会で策定された地域計画は、他の区にも影響を与える先進事例だと感じました。これは、市が進めている地域独自予算づくりにも貢献するものだと思います。

地域協議会委員からは、議会が地域活動支援事業をやめる提案をした理由や、これまで同事業を活用して取り組まれてきたことを存続するための方策などについて質問をつけました。



【サネカズラ】マツブサ科の常緑つる性木本の1種。漢字で「実葛」と書きます。別名は美男カズラ。昨年の秋、サネカズラの赤い実と出会い、夏に咲く黄色い花と出合いたいと思い続けてきました。花期は7月～8月です。花自体はどれも遠慮して下向きです。花言葉は「また会いましょう」「再会」。7月23日、吉川区にて撮りました。

柿崎区でも安定ヨウ素剤の保管状況視察

日本共産党議員団は26日、柿崎区総合事務所を訪れ、安定ヨウ素剤の保管状況の視察をさせてもらいました。

同事務所で保管している安定ヨウ素剤は錠剤で1万9600錠、ゼリー剤(32・5mg)で2900包です。ここは原発に近く、区内全域がUPZ圏内に入ることから、上越市内の保管場所としては、上越保健所のぞき、一番保管量が多くなっています。保管に当たっては、室温保存、遮光保存等が求められています。キチンとされていました。

参加メンバーは、「錠剤の使用期限がこれまでの3年から5年に伸びた」、「いざという時に、市民にどう配布するか」などの指摘や質問をしました。担当者は「市は一時集合場所やバス避難者に配布する役割を担うが、具体的な配布マニュアルは現在、作成中である」と答えていました。



3年ぶりの吉川テラス、楽しく大賑わい

7月23日、吉川区原之町商店街での吉川テラスに参加してきました。新型コロナの関係で開催は3年ぶり。何年も会わなかった人が歳をとっていました。もちろん私も。

毎回、テラスを盛り上げてくれる太鼓集団は少しこじんまりしましたが、いつも元気を与えてくれます。素敵なフラダンスを見ることがで

きたし、小川エリさんの歌も聴けました。何よりも普段、なかなか会えない人との再会がうれしかったです。

この日、私は、焼きトオモロコシ、大判焼きなどたくさん買い物をしました。めずらしく生ビールを中ジョッキで2杯も飲みました。やはり、大勢集まって楽しむっていいですね。



国田の人たちなど



原之町の人たちなど

はしづめ法一の 活動レポート

No.2071 2022.7.31
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第七一八回

母のほめ言葉

先日、「かあちゃんに食べてもらって」と愛知県に住む弟が大きなメロンを二個送ってくれました。

わが家の人間はメロンが大好きです。私
が子どもの頃は、ヨシワラという場所で、
母がマクワや黄色いメロンをつくってくれ
ていましたので、収穫の時期が来るのを楽
しみにしていました。時期はちょうど今頃
ですね。

母が九〇歳を超え、自分で作ることで
きなくなってきたからは、牛飼時代にくさ
ん作っていた一〇メロンの栽培に私も挑戦
しましたが、食べ頃になる直前に野生動物
たちに食われてしまい、やめました。

そこらへんの事情を弟も知っていたので
しょうか、今度は自分が用意して母に食べ
てもらおうと送ってくれたのです。メロン
が着いてから数日後の夜、弟のところに
お礼のテレビ電話をしました。

「あら、おまん、どうしたか」
「おまん、電話くんたがねがが」
いつものように、すぐに話ができるよう
にして、スマートフォンを母の目の前に置
いたので、自分から電話をかけたとい
う自覚はないのです。最初はきこえない
話になりました。でも、すぐにいつもの調
子に戻りました。

「おまん、いい男だなあ。元気か」
「元気だよ」
「そりゃ、良かった」
「ヒロ子、入院してるがぶ……」
「なしたが」
「二四年前の交通事故のせいだねかな。で
も、心配いらんよ」
その後です、弟がメロンのことを口に出
したのは。

「おまん、メロン食ったかね」
「うん、うんめかったよ」
そして、母はこれまでにない言葉を弟に
かけました。

「おまん、長生きしろや。長生きしてくん
ないや」

弟が母にかける言葉を先取りして、逆に
母が弟に言うとはびっくりでした。何か思
うところがあつたのでしょうか。

弟に電話をかけた時間帯は、テレビのB
Sで朝ドラの再放送が行われていました。
電話中はテレビを切り、電話が終わってか
ら、再びスイッチを入れました。

再放送されていた朝ドラは、国産初のウ
ィスキー製造に挑んだ人の物語、「マッサ
ン」です。主人公の政春を演じた玉山鉄二
は母のお気に入り俳優さんです。テレビ
では、マッサンが、「日本がぎゅっと詰
まったウィスキーをつくる」としゃべって
いました。

「これがマッサンてがろ、いい男だなあ」
ここ数年、母の男性にたいするほめ言葉
はいつも「いい男」、女性にたいしては、
「きれい」「若いねえ」です。
♪麦は泣き、麦は咲き、あしたへと育って
いく

中島みゆきが歌う主題歌が流れ、番組が
終わってから、母に気になっていたことを
質問しました。

「おまん、ほんとにメロン、食ったがが」
「なんだか、うんめ、メロン、食ったよな
気するな」

しかし、本当はまだメロンは座敷に置い
たままでした。食べ頃には二、三日早いと
思ったからです。

その日の夜中のことです。最近、左手が
きかなくなった母は、ベッドから起きるに
も難儀していました。「いち、にいの」
と声を出しても、なかなか起き上がれませ
ん。私はこれが限界という段階で手助けし
ています。そのときです。私には「いい男
だな」と言ってくれない母が、「ああ、
トチャいてくんで良かった」と言ったので
す。私にとっては最高のほめ言葉でした。

市教委、地域協議会で大浦安の中学校統合について説明

市教委は26日、27日、
浦川原、大島、安塚区の
地域協議会において、大
浦安の3中学校の統合に
ついて、決まったとして
いる統合方式や今後の予
定などを報告しました。
私は27日の午後、大島区
地域協議会を傍聴してき
ました。

報告について、委員か
らの質問や意見はありま
せんでしたが、注目したのは今後のスケジュール、猛スピードです。

市教委によると、8月から9月にかけて、地域協議会に中学校廃止を諮問し、ほぼ同時期に新しい校名を公募する。9月下旬には(仮称)3区中学校統合実行委員会設置準備会を設置する。11月下旬から12月下旬にかけて浦川原地域協議会へ新設統合による中学校設置の諮問をし、答申してもらおう。12月以降は、(仮称)3区中学校統合実行委員会の設置と統合に向けた諸準備に入る。3月には、学校設置条例改正に係る議会での承認を提案する。そして来年度は、生徒間交流や合同授業などを行い、閉校記念式典などをやり、2024年の4月には開校する。こうなっていました。

「えっ」と思ったのは、市政の重要テーマなのに、3月議会まで議会への説明の予定はまったく記載されていないことでした。市教委が書き落としたのか、議会への説明は必要なしと判断したのか、そこらへんは分かりませんが、これでいいのでしょうか。イラストは大島区地域協議会です。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月20日(水)	7月27日(水)
上越南消防署	0.057	0.047
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.053	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.040	0.047
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.047	0.053

春よ来い

第七一八回

母のほめ言葉

先日、「かあちゃんに食べてもらって」と愛知県に住む弟が大きなメロンを二個送ってくれました。

わが家の人間はメロンが大好きです。私
が子どもの頃は、ヨシワラという場所で、
母がマクワや黄色いメロンをつくってくれ
ていましたので、収穫の時期が来るのを楽
しみにしていました。時期はちょうど今頃
ですね。

母が九〇歳を超え、自分で作ることで
きなくなってきたからは、牛飼時代たくさ
ん作っていた一口メロンの栽培に私も挑戦
しましたが、食べ頃になる直前に野生動物
たちに食われてしまい、やめました。

そこらへんの事情を弟も知っていたので
しょうか、今度は自分が用意して母に食べ
てもらおうと送ってくれたのです。メロン
が着いてから数日後の夜、弟のところに
お礼のテレビ電話をしました。

「あら、おまん、どうしたか」
「おまん、電話くんたがねがが」
いつものように、すぐに話ができるよう
にして、スマートフォンを母の目の前に置
いたのですが、自分から電話をかけたとい
う自覚はないのです。最初はきこえない会
話になりました。でも、すぐにいつもの調
子に戻りました。

「おまん、いい男だなあ。元気か」
「元気だよ」
「そりゃ、良かった」
「ヒロ子、入院してるがぶ……」
「なしたか」
「二四年前の交通事故のせいだねかな。で
も、心配いらんよ」
その後です、弟がメロンのことを口に出
したのは。

「おまん、メロン食ったかね」
「うん、うんめかったよ」
そして、母はこれまでにない言葉を弟に
かけました。

「おまん、長生きしろや。長生きしてくん
ないや」

弟が母にかける言葉を先取りして、逆に
母が弟に言うとはびっくりでした。何か思
うところがあつたのでしょうか。

弟に電話をかけた時間帯は、テレビのB
Sで朝ドラの再放送が行われていました。
電話中はテレビを切り、電話が終わってか
ら、再びスイッチを入れました。

再放送されていた朝ドラは、国産初のウ
イスキー製造に挑んだ人の物語、「マッサ
ン」です。主人公の政春を演じた玉山鉄二
は母のお気に入り俳優さんです。テレビ
では、マッサンが、「日本がぎゅっと詰
まったウイスキーをつくる」としゃべって
いました。

「これがマッサンでがろ、いい男だなあ」
ここ数年、母の男性にたいするほめ言葉
はいつも「いい男」、女性にたいしては、
「きれい」「若いねえ」です。
♪麦は泣き、麦は咲き、あしたへと育つて
いく

中島みゆきが歌う主題歌が流れ、番組が
終わってから、母に気になっていたことを
質問しました。

「おまん、ほんとにメロン、食ったがが」
「なんだか、うんめ、メロン、食ったよな
気するな」

しかし、本当はまだメロンは座敷に置き
たままでした。食べ頃には二、三日早いと
思ったからです。

その日の夜中のことです。最近、左手が
きかなくなった母は、ベッドから起きるに
も難儀していました。「いち、にいーの」
と声を出しても、なかなか起き上がれませ
ん。私はこれが限界という段階で手助けし
ています。そのときです。私には「いい男
だな」と言ってくれない母が、「ああ、
トチャいてくんで良かった」と言ったので
す。私にとっては最高のほめ言葉でした。

地域づくりや道の駅の活用方法などで意見交換

「市民と市長と対話集会」が24日、吉川コミュニティプラザで開催されました。申し込んだ市民は4人、いずれも区内在住の人たちでした。

4人からは、「地域づくりにあたって旧小学校区単位で行うことが重要となる。かみえちご山里ファン倶楽部のノウハウを活用できるような人的な支援がもらえないか」「杜氏の郷(地名)にある道の駅は近くに温泉あり、食堂ありで、車中泊にはもってこいだ。がスコロをつかえる一角をつくれぬか。また、大型の遊具を設置して区内外の子育て世帯があつまる場にしたい」「市民と市長の対話はすばらしい取組だが、対応にもっと丁寧さが必要だ」「町田の閻魔堂などにもっと支援を」「地域の施設が大切だと思ったら、住民自ら行動することが大事だ。(株)杜氏の郷は観光酒蔵(という視

点で)もう少し考えていただきたい」などの意見や提案があり、中川市長と意見交換していました。

全体としては、「人口減の時代で地域づくりをどうしたらいいのか」を真剣に考えるやりとりが多かったと思います。地域づくりを考える時の視点、若者から見た杜氏の郷の魅力など興味深く聴きました。前市長のキャッチボール集会のような賑やかさはありませんが、その分、参加市民1人当たりの市長とのやりとり時間は長くなりました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月20日(水)	7月27日(水)
上越南消防署	0.057	0.047
上越北消防署	0.043	0.040
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.053	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.040	0.047
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.047	0.053